

令和6年第8回 議会運営委員会

1. 日 時 令和6年6月24日（月）午後1時30分
2. 場 所 白井市役所本庁舎4階大委員会室
3. 議 題 （1）議会改革に係る議会運営委員会の検討事項について
（2）その他
4. 出席委員 柴 田 圭 子 委 員 長・広 沢 修 司 副 委 員 長
石 井 恵 子 委 員・長谷川 則 夫 委 員
田 中 和 八 委 員・徳 本 光 香 委 員
岩 田 典 之 議 長
秋 谷 公 臣 副 議 長
5. 欠席委員 なし
6. 説明のための出席者 なし
7. 会議の経過 別紙のとおり
8. 議会事務局 議会事務局長 松 岡 正 純
主 査 補 會 卓 也
主 事 金 子 直 史

会議の経過

開会 午後1時30分

○松岡議会事務局長 定刻となりましたので、始めさせていただきます。

会議に先立ちまして、柴田委員長より御挨拶をお願いいたします。

○柴田委員長 午前中に引き続き、御苦労さまでございます。

効率的に協議が進み、終わるようにしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

○松岡議会事務局長 ありがとうございます。

委員会会議につき、議事等につきましては、柴田委員長をお願いいたします。

○柴田委員長 ただいまの出席は6名です。委員会条例第16条の規定により、定足数に達しております。

これより令和6年第8回議会運営委員会を開会いたします。本日の会議は、お手元に配付の議題のとおりです。

議題1、議会改革に係る議会運営委員会の検討事項についてを議題とします。お手元に資料ありますでしょうか。議会事務局が作ってくれた色分けされた、あれですね。

今回は、案の①という、予算常任委員会じゃなく、今のとおり三つの常任委員会で振分けを考えましょうと。案①を参考しながら考えましょうというところだったと思うので、この間、何かお考えある方とか、ご提案ある方、お願いします。書いたほうがいい。

○田中委員 平気でしょう。この案の①、これ非常によくまとまっているなと思っています。

それで、左側の（仮称）総務教育と書いてありますね。それも教育が入ってきてバランスがよくなったなど。

この中に未来創造戦略室があるのですけれども、朝方に室長とお話をしたり、私の意見言わせてもらったりした中で、今回の未来創造戦略室の中には、人口減少対策とか農業とかいろいろなものが入っています。それで、土曜日、日曜日、委員長のほうからもメール頂いたりなんかして、いろいろ考えてはいるのですけれども、未来創造の中で、都市計画も関係するし、道路課も関係してくる、産業振興関係してくる、環境、農業委員会、この辺が全部関連をしてくるので、この総務のほうからは、未来創造戦略室を多分これは仮称かとは思っているのですけれども、企画経済のほうに例えば移動するというのが、一つの私の案と。

それから真ん中の市民福祉、これ紫色が二つに分かれていますけれども、あくまでも、教育のほうで6議案ぐらいなのですね。これをせっかく取って、市民活動支援課、市民課の5を足すのも、どうなのかなと思っていますので。私の考え方は、この紫は同じように企画経済、仮称ですけれども、そちらのほうに持っていくことによって、部長が割れるみたいなこともないのかなと。それで、なおかつ福祉、それから子育て、保育、健康、保険

年金、これだけでも相当なまだボリュームがあるのかなと思って、紫は、企画経済のほうの紫につけるという形ぐらいの動かし方でいかがかなと思っております。

以上です。

○柴田委員長 議長。

○岩田議長 そうしますと、今の田中議員のお話ですと、教育福祉の福祉だけを一つの常任委員会でいいのですよね。確認ですけれども。

○田中委員 はい。

○岩田議長 了解しました。

○柴田委員長 石井委員。

○石井委員 では、私は先日の田中議員の一般質問をお聞きして、未来創造戦略室が農業や都市計や道路関係に非常に密着しているというのが分かりましたので、私も、先ほど田中委員おっしゃったように、未来創造戦略室を企画経済のほうに回すのがいいのだと思っています。

そこで一つ、これを最初に示していただいた案を岩田議長のほうに質問したいのですが、紫の産業振興、環境、農業と市民活動と市民課、これを分けたのは、どういうふうなお考えで分けたのか教えてください。

○柴田委員長 議長。

○岩田議長 一番、各部を入れ替えないでやるため。それから、今の市民環境経済部かな。その常任委員会は都市経済か。都市経済が関わっている中で、それを一番割らない方法と、それから市民と。もともと市民活動とか市民課というのは、子育てとか福祉に関係しているので、何も市民活動が環境だとか、農業と一緒にいる必要はないということですね。もともとという昔の話でしょうがないですけれども、もともとは、これと市民関係と、環境とか農業は別な常任委員会だったものですから、くっつける必要はないかなと思っています。

○石井委員 分かりました。

○柴田委員長 ほかに御提案とか御意見とかありますか。

石井委員。

○石井委員 私はもともと、総務と教育って一緒にしてほしいなとずっと思っていました。教育委員会と児童家庭課というのは、国のほうでも違っていますしね。だから、総務と教育委員会が一緒はいいと思っています。先ほど言ったように、未来創造戦略室は、やはり企画経済のほうがいいと思っています。

先ほどの岩田議長の御説明を聞いて、私も、この市民福祉という、この仮称の名称がいいなと思ったのですけれども、市民福祉というふうな名称にすると、市民活動支援課や社会福祉課が一緒になって自然だなという気がしますので、私は、この紫は、このように分けてもいいのかなという気がしています。

以上です。

○柴田委員長 ほかに意見ありますか。

田中委員。

○田中委員 ちなみに、未来創造戦略室の場合は、まず議案は出てきません。そこでもんだやつを各課・部に照会するという形です。それと、予算のほうも、ほぼ研修をやるかなというぐらいの感じで、ほぼ補正予算とか予算はついてこないと思っています。

今の紫の市民活動支援課と市民課の件なのですが、総務のほうに会計、選挙管理委員会、議会事務局が入っていますね。それで未来は、企画経済のほうにというような話をしていましたので、逆に会計、選挙管理委員会、議会事務局はほとんどないものですから、市民活動支援課、市民課を総務のほうに持ってきてもいいのかなと。じゃないと、福祉のほうが多過ぎるというのが最初の提出の中にあったものですから、この市民活動支援課、市民課、これを企画経済に持っていくか、総務教育に持っていくかでよろしいかなというのが私の考え方です。

○柴田委員長 広沢副委員長。

○広沢副委員長 私も当初の考え方が、教育福祉が多いということだったので、ここの案①の紫の市民活動支援課と市民課、確かに内容的には、どっちかというと、ここで分けたほうが気持ちいいのですが、数を考えると、バランスでいうと、教育、経済のほうに従来の紫のところは一つの固まりに戻して、それ以外は、この案の①のほうがバランスがいいような感じはしています。

○柴田委員長 今のところは、そうですね。まず、未来創造戦略室を一番右側の企画経済に、中身的にも持っていったほうがいいのではないかと。議案的なものも出てこないし、委員会の活動として、いずれも開催できるようになっているので、そのときに未来創造戦略室に今どういうふうになっていますかとか、そういうふうに取り組みをしたり、そういう勉強をしたりすることも可能だから、それは総務ではなくて、実際に携わる企画なり経済のほうがいいのではないかとというのが一つ。

それから、市民、環境、経済部、この紫の部分が五つ課があるのですが、これが分断されることになってしまっているの、市民活動というのは、市民福祉の名前にあるとおり、密接なものであるから、このままでいいのではないかと意見と、それから企画経済、もともとが教育福祉が多いので、教育福祉を何とかしようということでは始まっているのであれば、市民活動支援課も市民課も、もともとの企画経済のほうに戻してもいいのではないかと意見と、今そこの二つが分かれています。未来創造戦略室を企画経済にというのは、大体皆さん、御異論がないようにも思います。そんな流れでよろしいですかね。

御発言ない方いらっしゃいますか。長谷川委員とかありますか。

○長谷川委員 まだ私の中の考え、まとまっていないのですよね。

○柴田委員長 徳本委員、どうですか。

○徳本委員 私も前回の会議で、未来創造戦略室は今の都市経済のほうがりっくりくるかなという意見を出しているの、まず、それは賛成です。

なので、案①をベースにするのであれば、未来創造戦略室を企画経済に移して、議案の数を調整するという意味では、市民課関係の紫も企画経済に移すのがいいかなと思っています。

ただ、一番、教育福祉が多いということに関しては、逆に魅力と思って立候補しているので、現行をもう少し、教育福祉をそのままにして、総務企画から都市経済に少し移すとかでもいいのかなというのは考えていたところです。

○柴田委員長 徳本委員の意見は、未来創造戦略室は企画経済のほうに移すというのは賛成ではあるが、教育と福祉を分けるということではなく、教育福祉はそのまま、その分、企画の部分で総務のほうに戻すというのでもいいのではないかな。企画の部分、具体的にどの課と、どの課とがありますか。

○徳本委員 それもいいと思います。

○柴田委員長 となると、現行案で未来創造戦略室を都市経済のほうに持っていくということだけの変更という感じになりますかね。

徳本委員。

○徳本委員 現行、案①を移すとしたら、さっきの意見で、現行の場合だったら、そうですね。未来創造戦略室と企画、財政関係を都市経済に移してもいいかなとも思います。そうすると、今の議案数で言うと八つ動くので、都市経済が26になり、総務企画が23になりという感じです。

○柴田委員長 それは分かります。そうですね。

では、現行の企画経済部分を都市経済に持っていくって、未来創造戦略室も都市経済に持っていくと。そうすると、議案的には26と23と、バランスが取れてくるのではないかなという御意見でしょうか。

○徳本委員 はい。

○柴田委員長 教育と福祉というのは、法律は別だけれども、結局学童は保育のほうの関係だし、何か密接につながっているといったら、つながっているので、確かに分けるのはどうなのというの、意見としては分かります。

でも、そうすると、また最初から考え直したほうがいいということになるのかなと思いますけれども。

広沢副委員長。

○広沢副委員長 私としては、この案の①の企画政策と都市計画の部門が一緒になってというのがいいかなと思って、画期的だなと思っていまして、都市計画とか産業振興に関することって、企画とか財政とすごく実は密接に関わっているのですけれども、今までなか

なか、別々の議論で風通しが悪いような部分を実は感じていたところがありまして、そういう意味で、この案の①の形というのはいいかなというふうに思っています。紫のところと未来創造と企画と都市計画が一緒になっているのはいいかなというふうに感じるころです。

○柴田委員長　ということは、紫部分、企画経済と都市計画の部分は一緒になると、風通し良くなるし、いいなと、そこはいいアイデアであるということと。

あと、先ほどおっしゃられました紫の市民活動経済部については、元に戻す。あれ左側に戻すのですか。

広沢副委員長。

○広沢副委員長　先ほどの意見と変わらず、企画経済のほうに全部持っていったほうがバランス的にはいいので、それがいいと思っています。

○柴田委員長　そうすると、それで26になる。39。今の広沢副委員長の意見は、総務教育の部分はこのままで、未来創造戦略室だけ企画経済に移す。市民福祉というところについては、社会福祉課から保険年金課までで、下の二つの紫部分、市民活動支援課と市民課は、一番右側の企画経済のほうに移す。そうすると、いいのではないかという御意見です。

広沢副委員長。

○広沢副委員長　今お伝えしたかったのは、その結果は、最初の私の意見と何ら変わらないのですけれども、企画と都市計画がくっついているというところがいいのではないか。ここは支持しますという内容です。

○柴田委員長　どうでしょうか。取りあえず、そうすると、田中委員が最初におっしゃったのと、今、広沢副委員長が言っているのが同じになりますね。紫部分は、みんな右側に移したらどうでしょうかというので同じになります。

それから石井委員は、未来創造戦略室は企画経済にというのは、これ皆さん、同じことをおっしゃられていますね。

それで、徳本委員が、未来戦略室が一番右側に移すということと、紫色の部分は右側に移す。ここまではほかの方と同じだけれども、現行の教育福祉は、そのままでいいのではないか。つまり青色の部分は。今の案がほぼ継承ということを提案されていますよね。現行というもののうちの未来創造戦略室を企画経済に置き、それから企画経済と財政の緑色の部分は企画経済に置く。そこは同じでいいのですか。

徳本委員。

○徳本委員　そうです。そういうことです。

○柴田委員長　そうすると、青色の部分が真ん中の福祉のほうに戻ると。

○徳本委員　はい、そうです。

○柴田委員長　そういうことですね。

○徳本委員　はい。いいですか。

○柴田委員長 はい、どうぞ。徳本委員。

○徳本委員 今のところ、未来創造戦略室を都市経済か企画経済かと名前はありますがけれども、そちらに移すという異論が出ていなくて、分かれているのは、案①の紫の市民課関係を企画経済に持っていくか、持っていないかは分かれていましたよね。そのままという意見と分かれているのと。あと、教育の部分を総務なのか、福祉と一緒にかというところが分かれていますので、そこが決められれば、大体決定しそうかなと。私も企画と都市計画とかは、一緒だといいのじゃないかと思っているので。

○柴田委員長 分かりました。やっぱり書いたほうがいいか。協議会にしますね。

休憩 午後１時５０分

再開 午後１時５５分

○柴田委員長 再開します。

今のところのまとめとしては、案の①というところで、未来創造戦略室が一番右側の企画経済に移す。そして、紫の部分の市民、環境、経済部について、今のところ、案の①のとおり、市民福祉という仮称の常任委員会に残したほうがいいのかというのと、企画経済に持ってきて、まとめてもいいのじゃないかという意見と、そこは分かれるところです。

あと、御発言がなかった長谷川委員、もしお考えあれば、お願いします。

○長谷川委員 今の意見聞いていて、案①の中で、議案数だけの比較になっちゃうのですがけれども、企画経済に市民、紫の部分まとめていいかなと、今のところは落ち着いているのかなと思っています。

○柴田委員長 どうでしょうか。

石井委員。

○石井委員 それでは、私は市民活動支援課と市民課を真ん中の市民福祉に分けた、この案がいいと思っていましたけれども、議案数がまだまだそれでも多いということであれば、企画経済、一番右側のほうに、紫の市民活動支援課と市民課を移してという案で、今長谷川議員おっしゃったような案で、私もそれでもいいと思います。

○柴田委員長 大体、それで意見がまとまってしまったようですけれども、よろしいですか。

○田中委員 よろしいじゃないですかね。

○広沢副委員長 いいと思います。

○柴田委員長 じゃあ、これでまとめて、全協に諮るということでよろしいですか。

○田中委員 １個だけいいですかね。

○柴田委員長 田中委員。

○田中委員 今日、未来創造とお話しした中で、そういう形に企画経済のほうに持っていていただけると、委員長、さっきちらっとおっしゃいましたけれども、未来でいろいろ

なことを考える。そこには企画政策も入れてもらう。お金の問題もある。担当の都市計画、それと産業振興、環境、農業委員会、この辺をここの箇所での企画経済で常任委員会集めていただくことによって、自分たちの意見を言える。周りのほかの課の意見も聞けるという形で動かしていただけるとありがたいと、こういうような御意見もありましたので、付け加えさせていただきます。

○柴田委員長 分かりました。

それでは、大体話まとまったようですので、原案としては、案①、これ仮称になっていますけれども、仮称については、このままでもいいような気がします。

田中委員。

○田中委員 市民福祉のところですけども、ここ例えば、さっきおっしゃったように、市民課が入っているから、市民福祉なのですけども、例えば子育て福祉課とか、何かそういうような名称でもいいのかなと。健康福祉課でもいいし、保育だけだとあれですから、子育てかな。福祉子育て常任委員会。子育て。

○柴田委員長 昔は民生という言葉を使ったりしていましたよね。

○田中委員 民生ね。そういう形で、ここだけ直れば、あと総務教育、企画経済はよろしいと思います。名称は。

○柴田委員長 名称については、どうですか。これは後で最終的に決めればいい話ですけども。名称について、真ん中の市民福祉だけ要検討ですけども、三つ、このままでいくとして、最終的に皆さんが合意が得られたのは、総務教育というくくりで、総務と会計関係と教育関係、会計関係、ごめんなさい。この黄色のその他の部分と総務部分、それと教育関係を見ると。

それから、福祉として一くくりにして、社会福祉から子育て、保険年金課までを福祉の部分として一つまとまると。

それから、企画経済として、今まで総務のほうにあった企画政策課、財政などが都市計画のほうとくっつき、そして市民活動関係も企画経済のほうに入り、これで未来創造戦略室が加われば、横のつながりの、縦のつながりも両方充実したものになるのではないかと。ということで、これを一つのまとまりとすると。そういうような感じで、今、合意が得られたかに思っていますが、それでよろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○柴田委員長 ありがとうございます。

そういうことでまとまりましたので、よろしくお願いします。

議長。

○岩田議長 今、ほぼ議運での結論が出ましたので、最終的には全協で諮って、皆さんの合意が得られて進めるわけですけども、今の部が割れるということはないので、特に執行部側に打診って、協議する必要はないと思うのです。ここで議会で決めればよいと思う

のですけれども、今度は28日に全員協議会予定されていますので、ここの案を基に皆さんに諮って、1週間ぐらいの、あるいは今定例会終わりぐらいまでかな。あるいは、期間を設けて、皆さんの意見を聞いて、その次の議運で決定してもらえばよろしいと思います。

その案を提案する場合に、今話しましたように、市民福祉課、市民が抜けたものですから、福祉、福祉部だけで福祉常任委員会でよろしいでしょうかね。仮称は。

○石井委員 仮称か。

○岩田議長 仮称は福祉のままでよろしいでしょうかね。であれば、そのように28日に皆さんにお諮りをしたいと思います。終わります。

○柴田委員長 福祉だけでいいですか。健康、子育てとか。

○石井委員 仮称だから。

○柴田委員長 仮称でいいのですか。仮称が取れるか分からないのだけれども。取りあえず仮称なので。

そういうことで、議長がおっしゃったとおり、今度の全協で皆さんにお知らせして、検討してもらうということになります。

では、議題の一つ目は、これで終わりました。よろしいですか。

その次がオンラインの会議について。

これも前回の会議で、災害とか非常事態のときに会議が開けるような状況にはしておきましょうということが決定されたと思うのですね。それで、どうしようかということになるのですが、これ、この後の進め方として、どうでしょうか。

石井委員。

○石井委員 前回、資料の中でたたき台となる条例の文が提示されました。核心はもう決まったわけですから、あのたたき台をあのまま使えばいいのかなと思いますので、1回事務局に作っていただいたらどうでしょうかね。

○柴田委員長 もうたたき台というか、全国市議会議長会からひな型がきていますので、それを白井のバージョンに直してもらって、白井市の委員会条例なり、会議規則なり、それにのっとして作ってみてもらおうということの提案ありましたけれども、広沢副委員長はいいですか。

広沢副委員長。

○広沢副委員長 賛成です。

○柴田委員長 ということで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と言う者あり〕

○柴田委員長 じゃあ、どのくらいかかりますかね。議会事務局で、そういうの。8月中に1回、常任委員会の意見を取るから、その後に。8月中にもう一回、お盆の前ぐらいに、1回でもできたほうがいいかなと思うけれども、どうですか。8月で大丈夫ですか。8月のお盆の前ぐらい。難しい。

議会事務局長。

○松岡議会事務局長 改正自体は入り組んだものでもないわけなのですが、例規担当ともいろいろと相談をさせていただいて、案を出させていただきたいと思いますので、それぐらいの時間は頂ければありがたいと思います。

○柴田委員長 8月前半ぐらいにはできるかなという感じでしょうか。ありがとうございます。

よろしいですか。8月前半ぐらいにできますということなので、8月前半に1回、できたら開催させていただいて、それでもうちちょっと進める、どういうふうに進めていくか、あと、この後どうするかということの確認ができればいいかなと思います。よろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

○柴田委員長 でも、今から日程決まりますか、8月のこと。まだ分からない。お盆の手前までに何とか。

○石井委員 地元の祭りとかがね。

○田中委員 最低でも10日前ぐらいに御連絡頂けるとありがたいかなという感じはありますね。

○石井委員 8月22日の通告の日でもよくないですか。

○柴田委員長 それでいいか。8月22日、通告の締切りなので。いい御提案を頂きまして。

一般質問の締切りが8月22日の木曜日なのですね。そのときは皆さん出ていらっしゃるので。じゃあ、午後どうでしょう。8月22日。

○田中委員 はい、結構です。

○柴田委員長 午後1時半。くじ引くのが1時ですよ。1時半でいいですか。じゃあ、くじ引いて、すぐ1時半ということに決めます。よろしくお願いします。どうもありがとうございます。

そのほかについてを議題とします。委員の皆様から何かございますか。

石井委員。

○石井委員 今議会も、もうあと残すところ数日となりまして、最終日を迎えるだけになったのですが、ここまで来て、一般質問のことを皆さんもお忘れかと思いますが、一般質問の取上げ方というか、一問一答形式にはなっているのですが、その件について、もう一度確認させていただきたいと思いますので、委員長、計らいよろしくお願いします。

○柴田委員長 これは協議会にしたほうがよろしいですね。

じゃあ、協議会にします。

休憩 午後2時07分

再開 午後2時26分

○柴田委員長 再開します。

今、委員の中から、一般質問について少し提案がありまして。一般質問というのは、今は一問一答で、質問・答弁で60分とするということが申合せの中に入っておりますので、それをそれぞれが守るように心がけるということと、それから一問一答なので、二つ一遍に質問するとか、そういうことはないように、それぞれ気をつけましょうということを改めて皆で共有したいと思います。そういうことになりましたので、よろしくお願いします。

では、委員の皆様からは、ほかに何かございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○柴田委員長 次に、議長から何かありましたら、お願いします。

○岩田議長 ございません。

○柴田委員長 事務局から何かありますか。

事務局長。

○松岡議会事務局長 1点、お知らせがございます。7月1日の最終日に、執行部より追加議案が予定されております。このため、議会運営委員会を6月28日金曜日の9時30分から開催する予定でございます。詳細については、後日通知をしますので、御予定のほどよろしくお願いします。

以上です。

○柴田委員長 10時から全協なので、その前9時半から。追加日程ですね。

では、ほかに何かございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○柴田委員長 それでは、ないようですので、以上で本日の議題は全部終了いたしました。

よって、議会運営委員会を閉会いたします。慎重なる御審議を賜りまして、誠にありがとうございました。

閉会 午後2時26分

以上、会議の顛末を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和 年 月 日

議会運営委員長